



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッチツ

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩谷 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部総務部長 (氏名) 松井 慎一

TEL 03-5561-6200

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,780	△5.2	219	14.0	204	△39.7	120	△47.8
27年3月期第2四半期	5,041	11.5	192	29.2	338	46.1	231	107.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 114百万円 (△55.4%) 27年3月期第2四半期 255百万円 (25.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.68	—
27年3月期第2四半期	10.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	16,837	11,706	69.5	550.71
27年3月期	17,131	11,666	68.1	548.83

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,706百万円 27年3月期 11,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	3.50	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	△1.7	460	△11.8	450	△41.7	270	△55.7	12.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	21,300,000 株	27年3月期	21,300,000 株
28年3月期2Q	43,661 株	27年3月期	43,328 株
28年3月期2Q	21,256,507 株	27年3月期2Q	21,257,891 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2~3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、機械関連については、船用機器の需要は、円高是正等を背景とする国内造船所における受注環境の改善により堅調に推移しております。資源関連については、住宅関連資材向け需要が低調に推移し、半導体、情報通信関連分野の需要も、光学関連が回復傾向を示しているものの、半導体関連の回復が遅れております。賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率は低下基調にあります。

上述の如き環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は47億8千万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は2億1千9百万円（同14.0%増）となりましたが、営業外において中国合弁会社の業績低下に伴い持分法による投資損益の悪化等があったことから、経常利益は2億4百万円（同39.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千万円（同47.8%減）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①機械関連事業

船用機器は、国内造船所におけるバルカーなど新造船の受注回復を背景に、売上、受注とも増加いたしました。産業機器は、一般産業機械や空気予熱機関連の大口案件の一巡により、売上、受注とも減少いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は31億8千5百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は2億8千1百万円（同38.4%増）となりました。

②資源関連事業

結晶質石灰石の売上は、住宅関連資材向け需要が低調に推移し減少いたしました。半導体封止材などの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）の売上も、光学関連の需要が回復傾向を示したものの、半導体関連の需要回復が遅れるとともに電子材料関連の大口需要が一巡し減少いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は11億1百万円（前年同期比9.0%減）、営業損失は1億3千4百万円（前年同期は営業損失3千9百万円）となりました。

③不動産関連事業

新規テナント入居により、稼働率が改善したことに加え、建物のメンテナンス費用が減少したこと等から、売上高は5千1百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は1千1百万円（前年同期は営業損失1千5百万円）となりました。

④素材関連事業

耐熱塗料の売上は、家電向け等工業用が増加したものの、設備用が低調に推移し減少いたしました。ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の売上が、セメント業界向け大口案件の寄与で増加し、素材関連事業全体では、売上高は4億4千2百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益は6千1百万円（同39.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、168億3千7百万円となり、前連結会計年度末比2億9千4百万円減少いたしました。これは、電子記録債権や仕掛品が増加する一方、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の減少、有形固定資産の減少があったこと等によるものであります。負債合計は51億3千1百万円となり、前連結会計年度末比3億3千4百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金の減少、有利子負債の減少、未払法人税等の減少、流動負債のその他に含まれている未払費用の減少があったこと等によるものであります。純資産合計は117億6百万円となり、前連結会計年度末比3千9百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は69.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、31億9千1百万円となり、前連結会計年度末(33億8千万円)より1億8千8百万円(前連結会計年度末比5.6%減)減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億2千9百万円(前年同四半期連結累計期間は営業活動の結果使用した資金2千4百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が2億4百万円、減価償却費が2億3百万円、保険金の受取額が1億5千7百万円あったものの、たな卸資産の増加が7千万円、未収入金の増加が6千1百万円、未払費用の減少が8千7百万円、法人税等の支払額が1億3千9百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億2千3百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ1億1千2百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億9千4百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ2千6百万円の減少)となりました。これは主に借入金の返済による支出があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,651,502	3,492,694
受取手形及び売掛金	2,629,613	2,504,836
電子記録債権	175,249	295,168
商品及び製品	330,423	239,965
仕掛品	730,431	933,501
原材料及び貯蔵品	488,520	446,487
その他	591,708	563,854
貸倒引当金	△7,330	△6,944
流動資産合計	8,590,119	8,469,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,477,966	2,442,309
機械装置及び運搬具（純額）	831,709	727,456
土地	2,407,765	2,405,871
その他（純額）	42,883	99,292
有形固定資産合計	5,760,325	5,674,929
無形固定資産	18,413	17,706
投資その他の資産		
投資有価証券	1,848,474	1,813,880
その他	919,172	862,691
貸倒引当金	△4,585	△1,554
投資その他の資産合計	2,763,060	2,675,018
固定資産合計	8,541,800	8,367,654
資産合計	17,131,919	16,837,221

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	900,362	808,973
短期借入金	1,750,042	1,385,104
未払法人税等	130,231	62,852
賞与引当金	89,653	97,676
役員賞与引当金	13,000	6,500
受注損失引当金	19,424	15,609
工事損失引当金	39	—
環境安全対策引当金	—	2,551
その他	930,738	896,947
流動負債合計	3,833,491	3,276,213
固定負債		
長期借入金	77,788	323,370
役員退職慰労引当金	103,694	101,747
環境安全対策引当金	49,183	38,167
退職給付に係る負債	731,195	709,245
資産除去債務	55,342	55,544
その他	614,863	626,931
固定負債合計	1,632,066	1,855,005
負債合計	5,465,557	5,131,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	9,007,213	9,053,491
自己株式	△10,397	△10,472
株主資本合計	10,908,072	10,954,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564,369	539,555
繰延ヘッジ損益	205	△22
為替換算調整勘定	212,627	230,226
退職給付に係る調整累計額	△18,912	△18,032
その他の包括利益累計額合計	758,289	751,726
純資産合計	11,666,361	11,706,003
負債純資産合計	17,131,919	16,837,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,041,203	4,780,821
売上原価	4,216,489	3,950,773
売上総利益	824,714	830,047
販売費及び一般管理費	632,252	610,681
営業利益	192,461	219,366
営業外収益		
受取利息	1,023	1,033
受取配当金	21,342	25,793
持分法による投資利益	133,410	—
保険解約返戻金	21,306	14,747
その他	17,833	16,278
営業外収益合計	194,917	57,852
営業外費用		
支払利息	8,687	7,158
持分法による投資損失	—	35,487
休廃止鉱山管理費	29,105	22,644
その他	10,832	7,720
営業外費用合計	48,626	73,010
経常利益	338,753	204,208
特別利益		
固定資産売却益	648	5,291
受取保険金	—	48,829
特別利益合計	648	54,120
特別損失		
固定資産処分損	16,302	9,776
固定資産圧縮損	—	36,349
減損損失	1,011	1,791
関係会社出資金評価損	27,623	—
その他	2,670	5,550
特別損失合計	47,607	53,467
税金等調整前四半期純利益	291,793	204,861
法人税、住民税及び事業税	56,434	70,274
法人税等調整額	3,962	13,909
法人税等合計	60,397	84,184
四半期純利益	231,396	120,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,396	120,677

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	231,396	120,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,785	△24,813
繰延ヘッジ損益	201	△227
退職給付に係る調整額	13,905	879
持分法適用会社に対する持分相当額	△39,588	17,598
その他の包括利益合計	24,304	△6,562
四半期包括利益	255,701	114,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,701	114,114
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291,793	204,861
減価償却費	214,040	203,327
減損損失	1,011	1,791
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,973	△1,947
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,575	8,023
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,133	△21,950
受取利息及び受取配当金	△22,366	△26,827
支払利息	8,687	7,158
持分法による投資損益 (△は益)	△133,410	35,487
有形固定資産売却損益 (△は益)	△648	△5,291
有形固定資産処分損益 (△は益)	16,302	9,776
固定資産圧縮損	-	36,349
受取保険金	-	△48,829
売上債権の増減額 (△は増加)	△947,144	4,857
たな卸資産の増減額 (△は増加)	251,203	△70,579
未収入金の増減額 (△は増加)	145,405	△61,573
仕入債務の増減額 (△は減少)	55,143	33,191
未払金の増減額 (△は減少)	13,464	1,919
未払消費税等の増減額 (△は減少)	55,064	△59,789
未払費用の増減額 (△は減少)	61,467	△87,901
前受金の増減額 (△は減少)	△3,002	18,472
その他	29,957	7,018
小計	35,556	187,547
利息及び配当金の受取額	16,281	31,036
利息の支払額	△9,103	△7,200
保険金の受取額	-	157,910
法人税等の支払額	△66,873	△139,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,138	229,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,086	△2,174
有形固定資産の取得による支出	△81,615	△202,946
有形固定資産の売却による収入	7,227	12,810
その他	△34,521	△31,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,996	△223,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	-	△400,000
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	△166,792	△119,356
自己株式の取得による支出	△121	△74
配当金の支払額	△53,145	△74,398
その他	△1,007	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,066	△194,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	74	△80
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△356,127	△188,807
現金及び現金同等物の期首残高	3,047,689	3,380,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,691,561	3,191,694

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,414,327	1,210,343	48,114	368,418	5,041,203	—	5,041,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	103	—	5,592	5,696	△5,696	—
計	3,414,327	1,210,446	48,114	374,010	5,046,900	△5,696	5,041,203
セグメント利益又は損 失(△)	203,590	△39,172	△15,330	44,174	193,261	△799	192,461

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去389千円、全社費用△1,189千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,185,282	1,101,707	51,491	442,339	4,780,821	—	4,780,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	107	—	7,529	7,636	△7,636	—
計	3,185,282	1,101,814	51,491	449,869	4,788,457	△7,636	4,780,821
セグメント利益又は損 失(△)	281,683	△134,940	11,966	61,633	220,342	△975	219,366

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去360千円、全社費用△1,335千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含めていた耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等の「素材関連事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

このため、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。